

各 位

2019年7月22日
株式会社東急百貨店

東急百貨店東横店の営業終了についてのお知らせ (地下1階の食品売場等を除く)

株式会社東急百貨店(以下、当社)は、東京急行電鉄株式会社が関係事業者と推進している渋谷駅周辺の再開発事業の進捗に伴い、東急百貨店東横店(以下、東横店)の営業を2020年3月31日(火)をもって終了することを決定いたしました。

なお、東横店地下1階の食品売場等につきましては、同日以降も営業を継続いたします。

いつもご利用いただいておりますお客さまや地域の皆さまにはご迷惑、ご不便をおかけすることになり、深くお詫び申し上げますとともに、長年のご愛顧を心からお礼申し上げます。

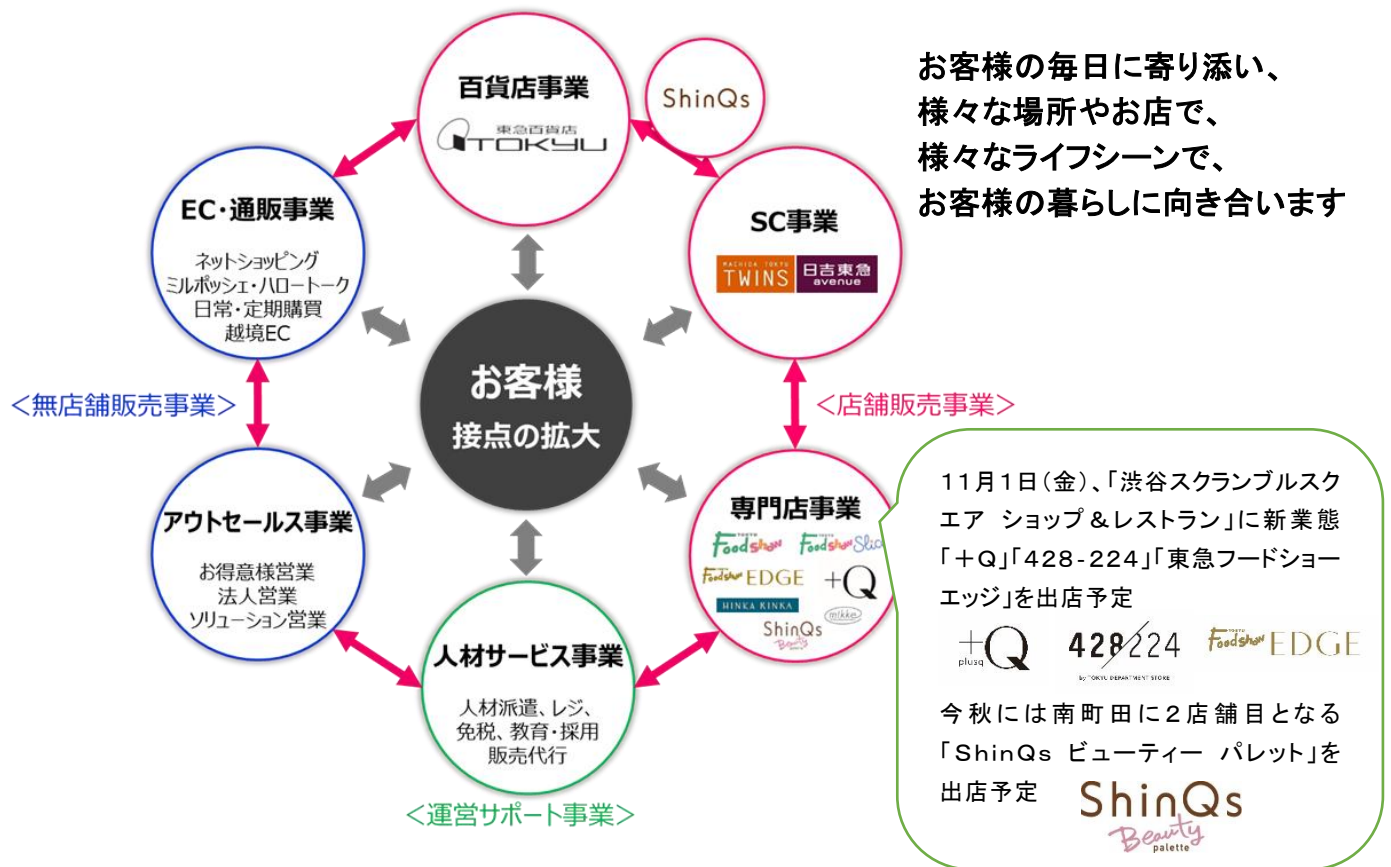
当社にとりまして「渋谷」は最重要拠点であり、東横店の営業終了に際しましては、同店地下1階食品売場、「本店」及び渋谷ヒカリエ内の「ShinQs」におきまして、店舗・売場の魅力向上に向けた諸施策を実施してまいります。加えて、本年11月1日(金)に開業予定の「渋谷スクランブルスクエア ショップ&レストラン」のテナントとして、一部の区画に出店いたします。ビューティーとハンドバッグ、シューズ、ファッション雑貨を取り揃えた「+Q (プラスク)」や、最旬のデザイナーズブランドから次世代ブランドまで、常に50ブランド以上がラインナップするセレクトストア「428-224 (シブヤ224)」、さらに、「最旬」「NEW」に徹底的にこだわり、スイーツとデリに特化した「東急フードショーエッジ」など、当社の編集力を生かした新業態として新たな取り組みに挑戦し、来街顧客の満足度向上につなげてまいります。

これらの諸施策により、渋谷エリアにおきましては、東急グループの目指す「日本一訪れたい街・渋谷」の実現に向け、引き続き貢献してまいります。

当社は中期経営計画で新たなビジネスモデルである「融合型リテラー」への進化を掲げております。今後、百貨店事業で培ってきたノウハウを生かし、当社の強みであるカテゴリーに特化した専門店の商業施設、沿線などへの出店や、EC・通販、アウトセールス(外商)、人材サービスなどで新たな取り組みを推進してまいります。そして、あらゆる場面でお客さまとの接点の拡大を図り、「生活サービス提案企業」としてお客さまのさまざまな生活シーンへ貢献してまいります。

【成長戦略】新ビジネスモデル「融合型リテーラー」について

目指すべき姿



＜融合型リテーラー＞ お客様接点の拡大・従業員の活躍の場の拡大

「融合型リテーラー」とは、百貨店とショッピングセンターの融合に加え、新規事業を創出し、事業構成の多様化を図る当社独自の新たなビジネスモデルです。これにより、お客さまとの接点を拡大し、従業員の活躍の場の拡大にもつなげていきます。

具体的には、以下のとおりです。

■店舗販売事業

- 百貨店店舗とショッピングセンター店舗のハイブリッド化により、顧客層の拡大を図り、利用価値の向上につなげていきます。加えて、運営形態や業務フロー、コンテンツなどを融合し、収益性・効率性の向上にもつなげていきます。
- 専門店事業の開発としては、すでに本年3月には、「ShinQs ビューティー パレット 町田」や「あざみ野 東急フードショースライス」を出店しています。今秋には、南町田に「ShinQs ビューティー パレット」を出店する予定で、今後も百貨店で培ったノウハウを生かし、専門店を出店していきます。

■無店舗販売事業/運営サポート事業

- EC・通販事業、アウトセールス事業(外商)、そして、運営サポート事業として人材サービス事業の分野でも新規事業を強化します。

今後、目利き力・編集力・販売力といった百貨店ならではの強みを活用してマーケットを開拓するとともに、「生活サービス提案企業」として、より一層お客さまのさまざまな生活シーンに貢献することを目指します。